

■整備コンセプト■

「歩いて楽しい、大好きなお城への道」  
～「ひと」が集い「まち」とつながる大手前通り～

コンセプトキーワード  
「歩く」「お城」「つなぐ」「楽しい」「賑わう / 集う」

■整備方針■

①城と駅をつなぐ

⇒緑でつなぐ

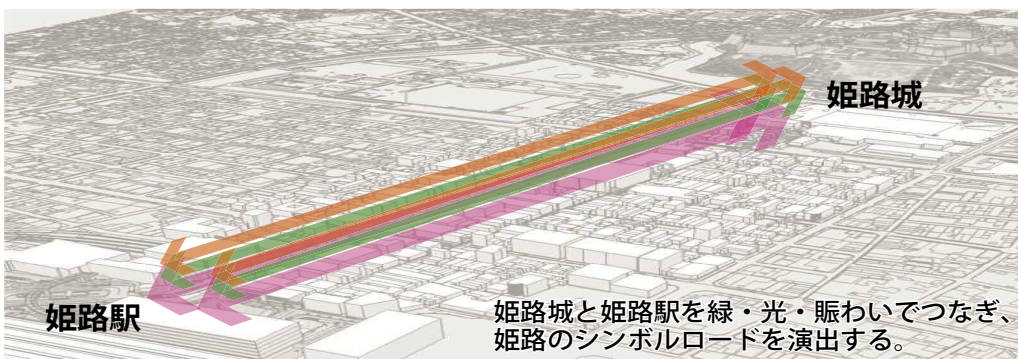
- ・緑の連続性を確保。(十二所前線以南は、現状の大手前通りに合わせて2列植栽としている)
- ・空間の歴史を引き継ぎ、基本的には残置するが、暗い箇所は間伐を行う。
- ・姫路城の「おもてなしの前庭空間」として設える。市民が手入れ可能な緑や花(手近な緑)を設置できる活用空間(緑と花の活用空間)を確保する。

⇒光でつなぐ

- ・駅前広場の照明をお城まで延伸させ、連続性を演出する。夜間景観の演出を行う。

⇒人をつなぐ・賑わいでつなぐ

- ・歩道内に自転車通行空間を整備し、舗装の切り替えで動線空間と滞留空間を明確に区分することで安全性を確保し、滞留空間にて市民による活用を促す活用空間を確保する。道路の活用により、人を繋ぎ・賑わいでつないでいく。



②賑わい

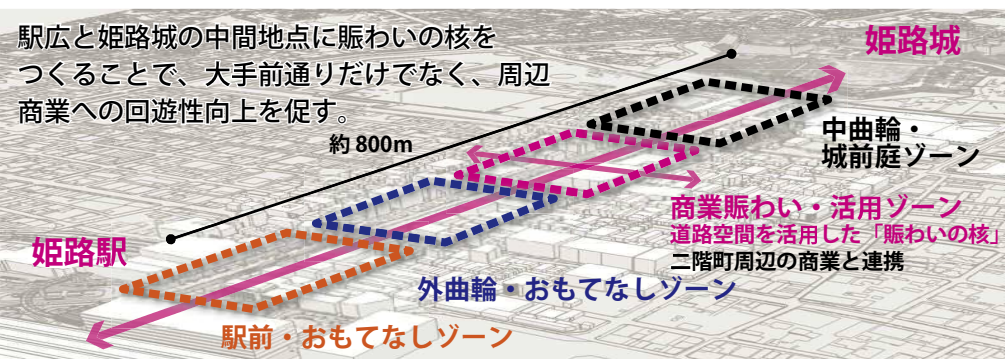
- ・賑わいの創出のため、自転車と歩行者の輻輳・樹木の根上り等の対策を行い、安全性の確保を行う。

⇒中央部(二階町周辺)に「賑わいの核」をつくる

- ・駅前～お城までの中間地点にあたる二階町の街区においては、「商業賑わい・活用ゾーン」として、活用空間を重点的に整備し、周辺商業と連携した賑わいの核をつくる。活用空間においては、活用のためのインフラ(電気・上水道・汚水桝・倉庫)の整備を行う。

⇒魅力的な休息空間の整備により周辺への回遊性を向上させる

- ・歩道を拡幅し、姫路城を眺めることができる休息空間やモニュメントを眺めることができる休息空間を整備する。
- ・周辺の商店街や観光箇所が把握できる「サイン」の設置を行う。



③風格

- ・姫路城にふさわしい長い時間軸を見据えた整備を行う。
- ・大手前通りの財産の継承を行う。

⇒樹木の活用

- ・大きく育った樹木は街路に風格を与えている。この樹木を活かした整備を行う。
- ・ムクドリ対策を行い、フン害の軽減には持続的に取り組んでいく。

⇒モニュメントの活用

- ・現在設置されている連続的なモニュメントは大手前通りに都市街路としての風格を与えることができる。

- ・既存モニュメントの配置・見せ方(照明等)を工夫し、活用する。

⇒本物の自然素材・地場産材の活用

- 長い時間に耐えることが可能な素材として、自然素材を用いる。



■整備テーマ■ 整備方針を具体化するテーマ

「安全に歩くことができる道に。」

- ・自転車通行空間を歩道部に整備することで、歩行者が安全に歩くことができる道として整備を行います。
- ・夜も安心して歩くことができる明るい通りとします。

【具体的整備内容】

- ・自転車通行空間の整備(舗装・サイン)
- ・密に繁った樹木の間伐
- ・歩道照明の整備
- ・歩道部急こう配の解消・バリアフリー整備

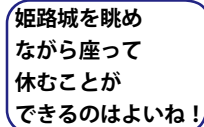


「お城の魅力向上させる道に。」

- ・歩道を拡幅し、お城を見ながら歩くことができる歩行者空間を整備します。
- ・姫路城が良く見える場所には、ウッドデッキ等で座って姫路城を眺めることができる休息空間を整備します。
- ・姫路城にふさわしい本物の自然素材を使用し、姫路城の価値を高めるデザインの整備を目指します。

【具体的整備内容】

- ・歩道拡幅・バス停部をストレート型に変更
- ・ウッドデッキ・ベンチ等休息空間の整備
- ・自然素材を使用した高品質な整備

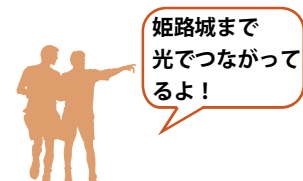


「お城と駅の間をつながることができる道に。」

- ・現在の駅とお城の緑のつながりを活かした整備とします。
- ・連続的な照明等により「光のつながり」を演出する整備とします。

【具体的整備内容】

- ・車道照明・歩道照明・景観照明の整備
- ・緑陰を活かした休息空間



「歩いて楽しく賑わいのある道に。」

- ・周辺の状況・歴史を踏まえたゾーニングにより連続性を保ちつつも変化のある道のデザインとします。
- ・民間によるオープンカフェ・マルシェ等の多様な歩道の活用により賑わいを生みだし、歩いて楽しい道とします。
- ・活用に必要なインフラ施設・倉庫等の整備を行います。

【具体的整備内容】

- ・ゾーニングを踏まえた変化のある街路のデザイン
- ・インフラ施設(電気・水道・汚水桝・倉庫)
- ・既存モニュメントの活用

